

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170503189		
法人名	社会福祉法人 愛全会		
事業所名	アビターレグループホーム ローマ館		
所在地	札幌豊平区平岸2条2丁目1-1		
自己評価作成日	平成26年10月1日(水)	評価結果市町村受理日	平成26年11月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高齢者総合福祉施設の5階にある3ユニットのグループホームです。住宅街に立地しており、交通の利便性に恵まれております。5階であることから、藻岩山・手稲山・札幌の街並みを一望でき、四季を感じられることも特長の一つです。ユニット内や廊下では絵画の観賞、また5階以外の共有部分も広く、軽い散歩や気分転換が出来、くつろげる空間が多く設けられています。高齢者総合福祉施設の機能を利用し(カラオケ・大浴場での入浴・喫茶・ファミリーダイニングでの食事会など)生活の幅を広げ、3ユニットのスタッフが連携を取る事で(合同カンファレンス・研修会・日々の3ユニットの申し送り)入居者が自由にユニット間を行き来し行動範囲も広がり伸び伸びと生活されております。また町内会の一員として、地域的美容室やスーパーマーケットを利用し、町内のお祭りや、イベントにも積極的に参加しております。町内会長、婦人部長の皆様には運営推進会議に参加して頂き様々な情報の共有、交換を行なっています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=tr ue&JigvosyoCd=0170503189-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号
訪問調査日	平成26年10月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自分らしい生活を支援出来る様入居者様の理念に掲げている。理念に沿ったケアプランを作成しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事の参加や地域のスーパーマーケット・美容室を利用したり、散歩などでは日常的に挨拶などを行っています。又、アビターレをご利用されているご家族の皆様と地域にお住まいの皆様に向けて情報の発信をしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日常生活の中での地域の方との交流の際や運営推進会議を通して認知症への理解や支援の方法を深めて頂くよう働き掛けています。地域の学生の総合教育の受け入れや実習生の受け入れを行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を行い、行事報告や事故報告をお伝えすると共に、地域の代表や入居者様、ご家族様も参加し意見や要望を聞き、サービスの向上に努めています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	札幌市や各区の連絡会議に出席し、他事業所の方々との交流や情報交換しサービスの向上に努めています。また市担当者に毎月の利用状況の報告を行っています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	平成26年6月に全体研修を行い、管理者や身体拘束防止委員会が中心となり、またカンファレンス等でもマニュアルに基づいたケアを行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止システムによる研修会を行い全スタッフの理解浸透に努めている。法令遵守・倫理等の研修も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修により理解を深めるよう努めています。必要性がある場合には関係機関と協力していただける様、体制を整えています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に添ってわかりやすく説明させて頂き、入居者様やご家族の疑問や不安をお聞きし、理解された上でサインを頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置やご家族様へのアンケートを行い、意見要望等を取り入れ反映させています。又、ご入居者様、ご家族様の様子からもご意見を汲み取る努力をしております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回の愛全会グループホーム管理者連絡会議があり、意見要望を伝える機会を設けて反映させています。また年2回自己申告書により職員の意見や要望を聞く機会があります。安全対策効率化委員会で年一回職員ストレスアンケートを実施し改善に取り組んでいる。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回自己申告書で個々の目標等を述べる機会があり面接も併せて行っております。資格取得後は資格手当が支給され、向上心を持って働けるように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間に行われる外部研修の情報を収集し、また内部研修の年間計画を立て、職員の段階に応じて多くの職員が参加し研修を受けられる環境を整えています。新人職員に対しては、ケア指導マニュアルにて丁寧な指導を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年3回のグループホーム地区連絡会議や交流会に参加しています。法人のグループホーム21ユニットのネットワークで、交流研修・勉強会・委員会・男性の会を行っています。また外部研修にも参加し他事業者との交流も行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人様とお話の場を設け、ご要望等をお聞きし、安心と信頼関係を築ける様努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族にお話を伺い、困っている事、心配な事、ご本人様の望まれる事などを話して頂き、ご家族様の心情を汲み取り、安心して入居出来る様、関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の望み、心身状態を確認し必要なサービスに繋がるよう柔軟な対応に努め、ふさわしいケアプランが出来る様努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の主体はご本人である事を職員全員で認識した上で、ご本人のペースに合わせた日々の生活ができるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いを受け留めるべく、日々の出来事や、気づいた事をお便りや電話、面会時にお伝えしています。又、行事等へのお誘いを通してご本人とご家族の絆を大切にし、時間や思い出の共有に努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の来訪時にはゆっくりお部屋やリビングで過ごして頂ける環境を用意しています。またご家族とのお墓参り、ご帰宅、食事会やご友人との文通や電話の継続を支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の生活の中で気の合う方、共通の趣味、習い事を通しての仲間作りを行い、またコミュニケーションが取りにくい入居者様はスタッフが間に入る等の工夫し、孤立する事がないよう配慮します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院・退去された方のその後の情報を確認し、お見舞いやご家族様に連絡をする等、関係を継続しています。又、各種関係機関とも連携を取っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の思いや意向を直接お聞きします。また表情、言動、行動を観察しアセスメントを行い、ご自分の意思を言葉で伝えられない場合であっても希望や思いを引き出すように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に関わっていた関係機関やご家族からの情報、また日々の会話の中から生活歴・環境・交友関係等も把握しケアに役立てています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の生活の流れ、心身の状態、有する力をアセスメントし、総合的なケアプランに展開し、現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンス、また状況に応じてモニタリングと評価を行い、本人・家族の要望・医師・看護師の意見を聞きながら内容を検討し、介護計画書を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化、気付いた事は記録しスタッフ間で申し送り、情報を共有します。それを活かしてケアプランの適正、見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が対応出来ない病院受信等は可能な限り施設の車両を使用し、スタッフが同行するサービスを行っています。また、デイサービスに通っていた時から行っているエコクラフトを継続しナーシングホームの方も一緒に行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会で行われる花植え、お祭り等に参加したり、開設当初から近隣のスーパーや、美容室を利用して、気分転換とおしゃれを楽しんで頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望に添ってかかりつけ医を選んで頂いています。また、医師との契約に基づいて訪問診察を受けている方には、連携し対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の健康管理(訪問看護師)の際には、心身の状態について報告しています。又、日頃から相談したり、緊急時には対応して頂ける関係を築いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供しています。またご家族・医療機関と連携しながらご本人の状況確認、話し合いを行い、早期退院に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に書面にて重度化した場合の事業所が対応しえる最大のケアについて説明しています。また、重度化した場合でも協力機関と連携をし、ご本人やご家族にとって最善の方法を話し合っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急対応に備え内外の研修会で技術や知識を習得しています。また、全ユニットで連携し緊急連絡網を基にシミュレーションを定期的に行なっています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎日、防火点検表を基に確認作業を行なっています。また、年2回、日中・夜間を想定した避難訓練を行い、避難場所、方法等を全職員が把握に努めています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者主体である事を念頭に置き、尊厳を守り、人格を尊重し、申し送り、日々のケアでそれらを常に意識した対応を心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の能力に合わせて自己決定しやすい言葉かけをし、選択しやすい様に配慮している。表現がうまく出来ない人には、サインや行動、表情を見逃さないように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・入浴・レクリエーションなどは一人一人のペース、その日の体調を考慮し、希望される事を優先して支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔感ある身だしなみの支援や、1人ひとりの好みの服装、ヘアスタイルの把握に努め、時にさり気なくアドバイスし、おしゃれを楽しんで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれが得意な事、出来る事(調理・盛り付け・片付け・配膳・下膳)と一緒に頑張って頂いています。バランス良く摂取される様心がけていますが、時には希望されるメニューで楽しんで頂いています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立メニューを提供しています。一人ひとりの状態に応じて普通食が摂れない方には刻み食・ミキサー食・とろみ食・極軟菜・栄養補助食品等を提供しています。またご本人が使用しやすい食器等の工夫もしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛けと、出来ない方には義歯洗浄や歯磨きの手伝い等を行ない清潔保持に努めています。また施設内に週一回の訪問歯科があり必要時に利用しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表に沿ってそれぞれの排泄パターンを把握し、トイレで排泄出来る様支援しております。またおむつから下着に替える取り組みも積極的に行なっています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一日の水分量を把握し不足しない様努め、牛乳、野菜の摂取、体操等の対応をしています。またおむつ使用の方もトイレに座る事で排便しやすい環境を作り、自力での排便が難しい方は医師と相談し調整を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	必ず事前に意思確認をしています。また楽しい会話等で入浴意欲を高めたり、時間の希望も取り入れています。入浴剤や室内温度にも注意を払いリラックスして入浴できるよう努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床や起床時間はご本人のリズムに合わせています。また、日中の活動を通して夜間ぐっすり眠れる様に努めています。年齢やその日の体調に合わせて日中にも休息を取って頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方時の確認を都度行い、毎回薬剤師から指導を受けています。又、定期的な薬に関する研修を行い、薬に対しての知識を得、日々のケアに活かしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意分野を把握した食事作りや後片付け、その日の状態により、外出での気分転換、施設内のご家族への訪問等、嗜好品の提供等一人ひとりの支援に工夫を加えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に近隣への散歩(施設の庭や公園)に出かけています。また、季節ごとに行事計画をたて出かける機会を作っています。お花見、紅葉狩り、野球観戦、動物園、水族館、コンサートなどご本人の希望や興味のある所に出かけています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはユニットで管理をしていますが、お金を所持出来る方は、自由に売店やスーパーなどで買い物をし、ご自分で支払いが出来るようにして頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホーム内の電話は、自由に使用できるようにしており、希望される時は先方への取次ぎの支援をしています。また、友人・ご家族との手紙のやり取りを楽しまれる方の支援も行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングでくつろげるように、空調完備し、ゆったりとしたソファの設置、軽音楽やDVDを流し居心地良く過ごして頂いています。また季節に合わせた飾り物などを一緒に飾っています(ひな人形・五月人形・クリスマスツリー・テラスの鉢植え)。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの他に廊下には椅子・テーブルを置き一人で外の景色を眺めて楽しまれたり、3ユニットの入居者様の交流の場になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、ご家族と相談し使い慣れた物を持って来て頂いております。お部屋には自分で作った作品などを飾り、安心して過ごして頂けるよう配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人のわかる事出来る事に応じて、見やすい時計やカレンダーをかけたリ整理しやすいように目印を付けています。状況に合わせて居室の環境整備をし、全て自立した生活が送れるように努めています。		